

英米言語研究 I (その2)

2 単位 2 年 (後期, 集中)

井上 永幸・, 山田 仁子・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 この講義では、日常生活の身近な例を使って、英語の意味と形について考えてゆく。「明かりをつける」という意味の turn on the light と turn the light on はどう違うのか、the light を代名詞にして it にするとなぜ turn it on のように turn と on にはさまれるのか、John has many books. はなぜ不自然か、happen, occur, take place はどこが違うか、常に「なぜ」考える姿勢で、複数の表現形式と意味の関係を考察してゆく、その際、適宜コンピュータを使ったコーパス言語学の手法を援用する。

【授業概要】 現代英語の文法・語法研究

【キーワード】 英語学, 英語語法研究, コーパス言語学, 辞書学

【履修上の注意】 (1) 常に自分から問題点を探求する態度で望んでもらいたい、学生諸君の新鮮でユニークな発想を期待している、(2) 後期の授業は前期の授業の内容を前提としているので、まず前期を受講し、その後で後期を受講することが望ましい。

【到達目標】 コンピュータ・コーパス (英語資料の集積) を活用して自ら研究が行えるようになること。

【授業計画】

1. 講義概要説明
2. コーパスとコーパス言語学
3. コーパスで何がわかるか
4. コーパスと統計値 (1)
5. コーパスと統計値 (2)
6. コーパスと統計値 (3)
7. コーパスと辞書編集
8. コーパスと語法研究
9. コーパスとシノニム研究 (1)
10. コーパスとシノニム研究 (2)
11. コーパスとシノニム研究 (3)
12. コーパスとシノニム研究 (4)
13. 発表 (1)
14. 発表 (2)
15. 発表 (3)

【成績評価】 授業参加、発表及びペーパーによる。

【再試験】 行わない。

【教科書】

- ◇ 井上永幸・赤野一郎 編 (2007) 『ウィズダム英和辞典』第2版、三省堂。
- ◇ ※適宜、プリントも配布。

【参考書】

- ◇ 齊藤俊雄・中村純作・赤野一郎 編 (2005) 『英語コーパス言語学 —基礎と実践— 【改訂新版】』研究社。
- ◇ ※最初の授業で、参考文献一覧表を配布。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218375>

【連絡先】

- ⇒ 井上 (オフィスアワー: e-mail:inouen@hiroshima-u.ac.jp)
- ⇒ 山田 (hitokoy@yahoo.co.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 10:20~11:20)